

## 各地区本部 大会報告

### 関西地区本部大会

関西地区本部は8月26日(土)に広島市内の西労組会議室に於いて第33回定期地区本部大会を開催しました。

川本副委員長の開会挨拶で始まり、資格審査を受け、議長には広島支部の岡原代議員を選出し議事が進められました。

福本委員長の挨拶では、「会社は鉄道事業黒字化を達成した。次にやることは、労働条件改善に全力を挙げることだ。社員、会社全体から信頼を得るべく、政策提言実現活動を活発化し、組織拡大につなげていきたい等、述べられました。

来賓挨拶では、辻村本部書記長が、安全について、年末手当について、政策課題では、特に貨物会社が上場企業を目指すうえで不可欠な税制特例等の経営支援策について、組織状況について、政治における、自民党及び民進党の状況等について述べられました。

続いて、退職者連絡会長・中国ロジ委員長の前村氏からは、退職者連絡会の状況、貨物連合における課題、ロジ会社の厳しい労働条件改善を何とかして前進させたいと述べられました。

その後、祝電メッセージ披露・2016活動経過・会計監査報告と続き、2017年度運動方針(案)を、関西地区本部

壇岡書記長より提起され、質疑応答に入りました。

4名の代議員より発言があり、主な内容は、「福利厚生ベネフィットについて」、「ITFの活動について」、「嘱託社員退職減耗補填問題」、「COMASを駅サイドから見た問題点」、があげられました。

本部・執行部より答弁の後、集約答弁が成され、その後、2017運動方針(案)、予算(案)が、満場一致で採択され、議長解任後、福本委員長の「団結ガンバリ」で閉会となりました。

場所を移し、参加者で懇親会を開催し、親睦をさらに深め、1日の行程を終えました。

九州地区本部で組織拡大がありました。関西地区では久しく拡大がありません。私達も皆さんに良い報告が出来るよう、日々、組織運動を盛り上げていきたいと思いません。



### 関東地区本部定期大会

8月26日(土)東京・新小岩地区センターにおいて、関東地区本部第32回定期大会を開催しました。

大会は飯塚副委員長の開会挨拶で始まり、議長に長谷川代議員を選出し議事が進められました。

森泉委員長からこれまでの運動を振り返るとともに、向こう1年間の課題に対する挨拶を受けました。

来賓には、交運共済東日本事業本部松井事業本部長、JR連合関東地方協議会杉本議長、中央労働金庫江戸川支店北島支店長代理より激励の挨拶を受けました。

その後、鈴木書記長より経過報告と運動方針(案)予算(案)が提案され、質疑においては、代議員より広範な発言があり、執行部答弁を経て、2017年



度運動方針が満場一致で可決されました。議事は深澤執行委員による大会宣言(案)を採択、森泉委員長による団結頑張ろうを行い定期大会を終了しました。

### JR連合関東地方協議会 第26回定期委員会開催

8月23日、東京・田町交通ビルにおいてJR連合関東地方協議会第26回定期委員会を開催し、加盟単組と共に貨物鉄産労関東地区本部組合員と南関東ロジスティクス労働組合が参加しました。

委員会は山本副議長(JR東海ユニオン)の開会挨拶で始まり、議長に須田代議員(JR東海ユニオン)を選出し議事が進められました。

杉本議長からは「安全・政策・民主化」等に対する所信を述べました。

来賓には関東交運輸労協議会議長、連合東京杉浦事務局長、JR連合河村事務局長より連帯と激励の挨拶を受けました。

その後、今井事務局長(JR東海ユニオン)より経過・活動方針(案)、決算・予算(案)が提案され、全議案は満場一致で可決されました。

議事は阿部常任(新幹線メンテナンス労組)より委員会宣言(案)が提案



されこれを採択、鈴木副議長(貨物鉄産労)の閉会挨拶を行い、杉本議長による団結頑張ろうを行い、委員会を終了しました。

### 2017年度JR連合関東地方協議会常任委員

- 議長 杉本修哉 東海ユニオン
- 副議長 鈴木哲夫 貨物鉄産労
- 副議長 阿部裕幸 新幹線メンテナンス労組
- 副議長 山本幸平 東海ユニオン
- 事務局長 酒向敦之 東海ユニオン
- 常任委員 斉藤弘昭 ジェイアール・イーストユニオン
- 常任委員 小川裕之 西労組
- 常任委員 畑山博行 東海ユニオン
- 常任委員 深田雄大 ジェイアール東海ツアーズ労組
- 常任委員 松田秀幸 南関東ロジスティクス労組
- 常任委員 安藤歩 東海ユニオン

健康な人も、自然災害は防ぎようがない。

みんなで作らしたカード 交運共済

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済